

念願叶って今回初めてとなるマルメ研修に参加することができた。まずはその間医院を守ってくれた妻とスタッフたちに感謝したいと思う。

冒頭、加藤先生が熊谷先生からの手紙ということで、この研修における目的・意義について語っていただいた。熊谷先生は理念を土台とした一貫性ある歯科医療を展開されており、その真髓を学ぶため、感じるため、考えるため、遠い北欧の地までやってきた。

医院への落とし込みがうまくできず、「日吉歯科ではどうやっているのだろう?」「どうやったらシステムが構築でき、うまく機能するのだろうか?」そんな日々が続いていた。

しかしそれは大きな間違いだったことを、早くも再認識させられることになった。

「システムを動かすのは“哲学”である」

まさにシステムを模倣しようとして、本質は何であるか?ということに対して目を向けず、ただただ日々の臨床に埋没していた自分がそこにいたことに初日から気づかされたのであった。

数年前にもう一度改めてオーラルフィジシャン医院を目指そう!!という決意を持って当院の医院理念を創った。熊谷先生のお言葉を借り、原点である『真の患者利益の追求』を理念として掲げ、少しずつではあるが前進してきた。

今回のセミナーを終え、一つの“確信”が自分の中に形成された。本当の意味でのパラダイムシフトが起こり、自分のすべきことが明確になった。

改めて“疾患”から“健康”に目を向け、熊谷先生のおっしゃる4つの要素(①EBMに立脚した臨床、②歯科医師・歯科衛生士としての確かな知識や技術、③継続的なバイオフィルムの破壊と除去のできる診療システム、④患者さんの理解と継続的な来院)をしっかりと融合させるべく、まずは理念・哲学を医院に浸透させ、医院一丸となって1から構築していく。

患者の口腔の健康へコミットした、まさに原点回帰となるセミナーとなった。